

児童が取り組む科学展作品への指導法と考察

～近年10年の各作品を振り返るへ

研究のねらい 熊本市立出水小2年担任教諭 井芹郁人

長年の教職生活を終えるにあたり、これまで各学校で出会った児童との研究作品を振り返りたくなった。私も子どもの頃、父母と取り組んだり、そのノウハウを紹介することで「なるほど」「これならできそうだ」と先生方の参考になれば嬉しい。子どもの疑問を大切にし、多様な実験方法や考察について指導助言した事柄を今一度、作品ごとに振り返ってみる。

夏休みの自由研究は「大変だから! たくない」「面倒くさい」といったイメージが強い。しかし、確かに大変な反面、やり遂げたときの充実感や満足感は測れないものであり、喜びや感激、そして、大きな感動があると信じる。これまでに勤めた多くの学校で、「先生に自由研究の助言をしていただきたい」と言ってくれる子どもたちが必ずいつも待っていてくれた。そのたびに、定量的なデータを残すこと、作品を見る人が分かりやすい予想や新たな気付き等を記入すること、さらに、研究内容を適切に伝えるための絵図やグラフの活用、研究を取り組んでの感想等を最後に付け加えることなども助言してきた。子どもたちは定量的なデータ収集に苦労したり、思うような結果が得られなかったりしたこともあったが、最後まで根気強く取り組んだ。そのほか、研究を進める上での悩みや疑問、そして、研究の中で感じた不思議や発見の喜びを本人自らの言葉で博物館や理科専科の先生方に直接伝えることで、多くの助言をいただき作品のレベルアップにつなげてきたところである。私の直近10年間の取り組みと振り返りが、今後も科学展に携わる多くの先生方や保護者、そして、子どもたちの参考になれば幸いである。

2 研究の方法 何をどう調べるのか明確な目標を掲げる事が大切

(1) 調べる事象に対して、明確な予想と見通しを立てながらより良い実験方法がないか考えたり調べたりする。

(2) 昆虫の個体や実験・観察の準備物等は可能な限り収集し、多様な実験等ができるようにする。

(3) 実験等の回数が少ない場合が多いので、学年・発達段階に応じて複数回実施し、科学的・定量的なデータの精度を高めながら調べる。

(4) 模造紙(広用紙)だけの作品で完結せず、実験等の際に用いた道具・器具類、結果や考察を裏付けるデータ冊子等の野帳資料も併せて説得力のある展示を行う。

3 研究の実際 駄菓子の処理便に元に新たに一端ごとに内容見直す。

熊日ジュニア科学賞

平成22・23・24年度の取り組み

春山小学校へ～年 西山有希さん「薬を受けた後のサインマーク」

平成22年 春山有希小学校科学部会研究会(1～7年) 出水小・井芹郁人

はじめに

本資料は、3年連続で熊本学園「熊日ジュニア科学賞」に選ばれた西山有希さん(春山小学校4年)の「駄菓子作品」(駄菓子小学校4年)の「駄菓子作品」(駄菓子小学校4年)を例に、実際に取り組みの様子や運営の運営について述べます。

その他の駄菓子に関する問題や、駄菓子の歴史など、以下の通り述べています。

★子どもの発想を大切にはぐくむ助言を。

西山有希さんは駄菓子の特徴に興奮して先に、ウインクのマークについて、駄菓子をかじるからかくまでもありますか? と聞いてきました。このように駄菓子と駄菓子の運営の運営について述べます。

ウインクマークは駄菓子の運営の運営について述べます。

それをそのまま表現するなら、駄菓子の運営の運営について述べます。

その他の駄菓子の運営の運営について述べます。

★手作り羽根の製作は難しいけれど…

西山有希さんは手作りの羽根の製作について述べます。

西山有希さんは手作りの羽根の製作について述べます。